



Since 1877

令和5年度  
第1回  
貴重資料展示

# 蔵書印から見る 学習院大学図書館所蔵資料



学習院大学図書館

## はじめに

学習院大学図書館所蔵資料の中でもっとも貴重な資料群に「京都学習院旧蔵書」と「華族会館寄贈資料」があります。前者は1847（弘化4）年、京都御所に設置された公家の教育機関であった「学習所」（京都学習院）※の旧蔵書のうち、本学に寄贈された資料です。後者は1877（明治10）年、神田錦町に華族の子弟のための学校「華族学校」（現在の学習院）が開設した時に、その設立・運営母体である華族会館が図書館建設を目的に収集していた資料をそのまま華族学校に引き継いだものです。

「学習院」の源流であるそれぞれの時代に、教育に必要不可欠とされた資料が収集・保管され、勉学に供されました。これらの資料は、今も尚、学習院大学図書館に引き継がれ利用されています。

※学習院の名は、1849（嘉永2）年、孝明天皇から勅額を下賜され正式名称となりました。



2027年 学習院は創立150周年を迎えます

## 蔵書印から見る学習院大学図書館所蔵資料

蔵書印とは、図書館や個人などが自館や自身の書籍の所有を明らかにするために捺す印のことです。ヨーロッパでは同様の目的で蔵書票が利用されましたが、蔵書印は東洋で発達し利用されてきました。中国の影響を受けた日本においては、奈良時代からの存在が知られており現在でも利用されています。蔵書印は、書籍の伝来や価値を判定するうえで重要な資料となる場合が少なくありません。

今回の展示資料3点は、京都学習院と華族会館の蔵書印が捺されている資料です。京都学習院の旧蔵資料には「**学習院印**」が、華族会館の旧蔵資料には特徴的なデザインの「**華族會館書籍局之章**」や「**華族會館書籍局印**」が捺されています。いずれも100年以上前に捺された蔵書印ですが、今でもその印影をはっきりと確認することができますので、その点に注目して展示資料をぜひご覧ください。

参考：“蔵書印”，日本大百科全書（ニッポニカ）．SHOGAKUKAN，<https://japanknowledge.com/library/>，（参照 2023-08-01）．

## ○京都学習院の蔵書印「學習院印」



1847（弘化4）年2月に開講した京都学習院の蔵書印です。宮内省を通じて1880（明治13）年に寄贈された約1,700冊に押印されています。

展示資料名：續日本後紀（しよくにほんこうき）

記載著者名：藤原／良房 等 奉勅撰

巻数：巻第一～第二〇

出版事項：出雲寺／林／元章〈洛〉，寛政7年（1795）

形態：27×19cm

冊数：20冊

書誌注記：寛文8年（1668）林和泉掾版の再刻。

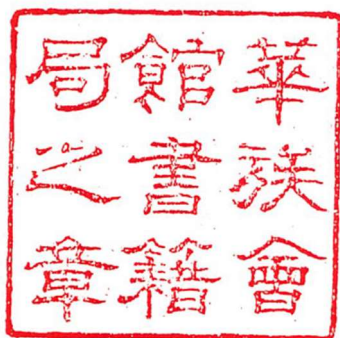
『續日本後紀』は、六国史の四番目にあたる勅撰の国史です。833（天長10）年から850（嘉祥3）年に至る仁明天皇一代17年の間の記事が収められています。完成は869（貞観11）年8月。伝本は1533（天文2）年から1535（天文4）年にかけて三条西公条が書写した三条西本（天文本）が最古本ですが、現在所在不明です。この三条西本の江戸時代の転写本が二十数本ありますが、天文本の親本が抄略本であったためか、本文を完全に伝えた伝本がなく、一部に脱文・抄略・錯簡があります。版本は1668（寛文8）年刊本および1795（寛政7）年再刊本があり、今回展示している資料は1795（寛政7）年の再刊本です。



表紙

参考：“続日本後紀”，国史大辞典，Yoshikawa Kobunkan，<https://japanknowledge.com/library/>，（参照 2023-08-01）。

## ○華族会館の蔵書印 1 「華族會館書籍局之章」



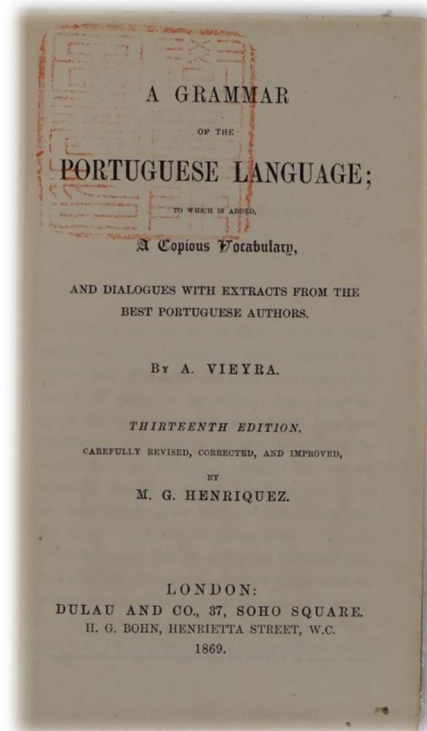
1874（明治 7）年設立の華族会館の書籍局の蔵書印です。1877（明治 10）年の華族学校（現在の学習院）開設にあたり、洋書 1,614 冊が寄贈されました。

次の資料には「縦覧所用図書」印も押されており、本資料の当時の利用方法が偲ばれます。

展示資料名：A grammar of the Portuguese language / by A. Vieyra  
版情報：thirteenth edition  
出版事項：London : Dulau , 1869  
形態情報：xi, 441 p. ; 18 cm

ポルトガル語の文法について英語で書かれている『A grammar of the Portuguese language』。

本学図書館が所蔵しているのは 1869（明治 2）年発行の第 13 版です。版を重ねながら長く出版されていた資料と考えられます。



扉

## ○華族会館の蔵書印 2 「華族會館書籍局印」



次の資料には「**学習院図書印**」もページ上方に押されています。

展示資料名：校正古事記（こうせいこじき）  
記載著者名：太／安萬侶 編  
巻数：上中下（学習院大学図書館は上中巻のみ所蔵）  
出版事項：明治8年（1875）  
形態：27cm×19cm  
冊数：3冊  
書誌注記：徳川氏蔵版。

『古事記』は、奈良時代の歴史書で上中下巻の三巻で構成されています。天武朝に企画され、天武天皇の命で稗田阿礼（ひえだのあれ）が誦習（文字化された資料の読み方を習い覚えること）した帝紀（天皇の系譜・皇位継承の次第を柱とする天皇記）と旧辞（古伝承）を、元明天皇の命を受けた太安万侶（おおのやすまろ）が撰録したものです。712（和銅5）年に成立しました。巻頭に安万侶撰進の上表文を載せています。上巻は国土形成の起源と王権の由来を神代の事柄として記し、中巻は神武天皇から応神天皇まで、下巻は仁徳天皇から推古天皇までの国家の形成史・皇位継承の経緯を系譜と物語によって記されています。



表紙

参考：“古事記”，日本国語大辞典. SHOGAKUKAN , <https://japanknowledge.com/library/>,  
(参照 2023-08-01) .

## おわりに

学習院大学デジタルライブラリーでは、本日展示した資料以外の貴重書をオンラインで閲覧できます。

### ■ 学習院大学デジタルライブラリー

<https://glim-op.glim.gakushuin.ac.jp/>



### <参考>

本書作成にあたり次のデータベースを参考にしました。

### ■ 国書データベース（国文学研究資料館）

<https://kokusho.nijl.ac.jp/?ln=ja>

「所蔵貴重資料展示 蔵書印から見る学習院大学図書館所蔵資料」

発行日：令和5年8月4日

発行者：学習院大学図書館



2027年 学習院は創立150周年を迎えます